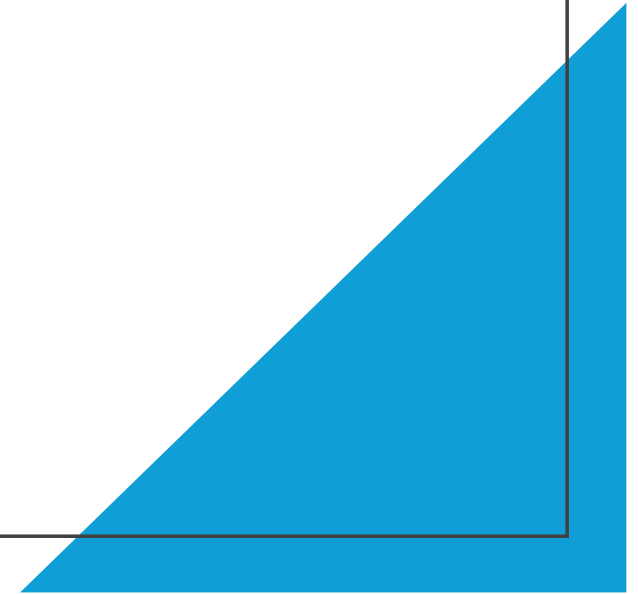



社会に出るときに起きる教育格差は埋まるのか

眞田
清鶴

古田
吉野





目次

1 はじめに


2 これからに時代に求められる職業

①教育の観点からみる現状の問題

②どのような教育が必要なのか

③求められる職業とは

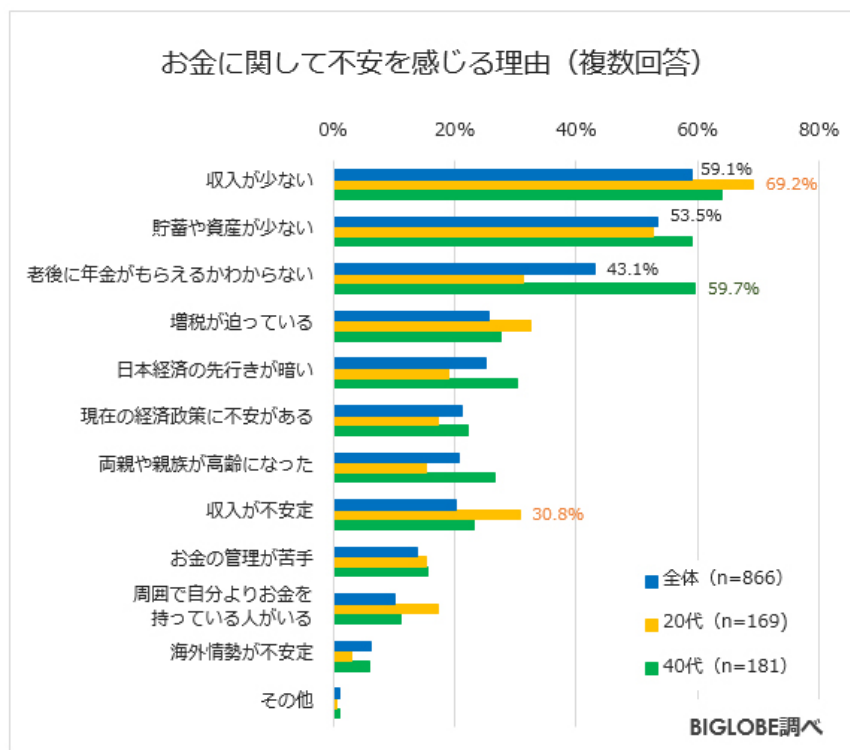
3 まとめ



はじめに

- 日本では、義務教育を終えた時点で働いてもいいということとなっている。しかし、それにより中学校を卒業してから働く人と、大学を卒業してから働く人ではお金についての理解度が大きく異なってしまうと考え、今回のデータをもとにこれからの日本にはこういった職業が必要なのかを紹介する
-

教育の観点からみる現状の問題



このようにお金に関して不安を感じる人は多くおり、その原因は社会に出る前にお金についての教育をあまりされてこなかったからだと予想される。貯蓄や資産、年金などについての不安が多いがこれらは教育によって解決できるものだと考える。

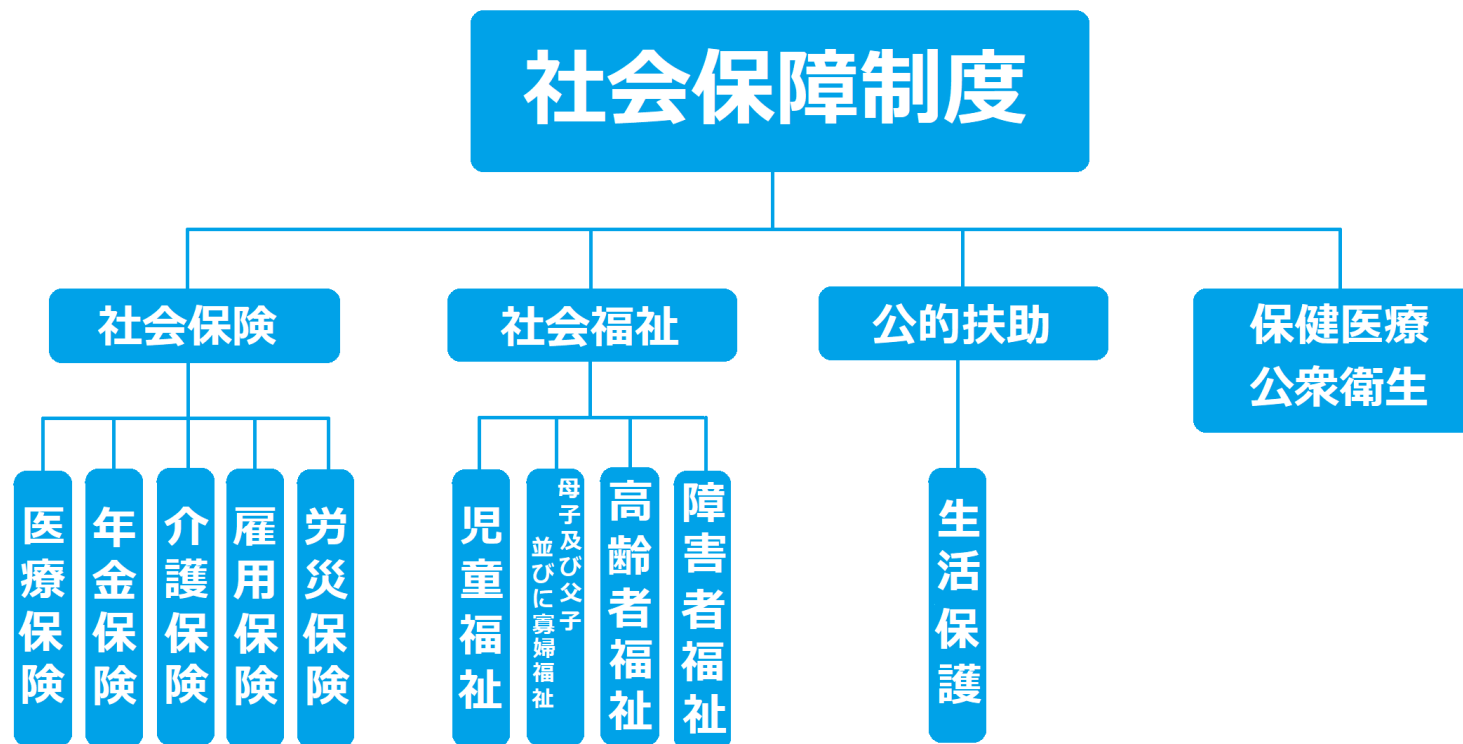
お金の不安を感じる人は
約9割 不安に打ち勝つ5
つの方法 | Mocha (モ
カ) (fpcafe.jp)



どのような教育が必要なのか

- 社会に出て困ったときに受けられる社会保障で何があるのか
 - その社会保障について、どうやったら受けられるのか、どのような社会保障なのかを詳しく知る
 - 資産運用についてのやり方
-

受けられる社会保障の例



求められる職業

《ソーシャルサポーター》

ネットでお金や社会保障について講義
する仕事

確定申告など実践してみないとわかり
にくいものなどのテキスト作成



社会人 5 年以上が働ける
必要な資格はなし
社会にでて働こうとしているひとに向けての講義





まとめ

今回この課題を考える中で、社会に出てもお金のやりくりを上手くやっていけるようにするための教育が足りていないということが分かった。しかし、この職業があれば、お金に対して不安を持っている人が減少すると思う。
